

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 7 部門第 3 区分

【発行日】平成 18 年 7 月 20 日 (2006.7.20)

【公開番号】特開 2000-350135 (P2000-350135A)

【公開日】平成 12 年 12 月 15 日 (2000.12.15)

【出願番号】特願 平 11-161607

【国際特許分類】

H 0 4 N 5/765 (2006.01)

G 1 1 B 20/10 (2006.01)

H 0 4 N 5/225 (2006.01)

H 0 4 N 5/265 (2006.01)

H 0 4 N 5/907 (2006.01)

H 0 4 N 5/7826 (2006.01)

H 0 4 N 5/91 (2006.01)

【F I】

H 0 4 N 5/91 L

G 1 1 B 20/10 E

G 1 1 B 20/10 3 0 1 Z

H 0 4 N 5/225 A

H 0 4 N 5/265

H 0 4 N 5/907 B

H 0 4 N 5/782 K

H 0 4 N 5/782 Z

H 0 4 N 5/91 N

【手続補正書】

【提出日】平成 18 年 6 月 1 日 (2006.6.1)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】 映像信号を入力する入力手段と、

ユーザが記録開始、終了を指示する第 1 の指示手段と、

上記入力される映像信号を上記第 1 の指示手段の指示に応じて記録媒体に記録する記録手段と、

上記第 1 の指示手段の記録開始の指示に応じて上記記録媒体への記録が開始されたときの第 1 の映像信号と、上記第 1 の指示手段の記録終了の指示に応じて上記記録媒体への記録が終了したときの第 2 の映像信号とを記憶する記憶手段と、

上記記録終了後ユーザが記録された映像の確認を指示する第 2 の指示手段と、

上記第 2 の指示手段の指示に応じて上記記憶手段に記憶された上記第 1 の映像信号、上記第 2 の映像信号を表示手段に表示する制御手段とを設けたことを特徴とする記録再生装置。

【請求項 2】 上記制御手段は、上記第 1 の映像信号、上記第 2 の映像信号を順次表示することを特徴とする請求項 1 に記載の記録再生装置。

【請求項 3】 上記制御手段は、上記第 1 の映像信号、上記第 2 の映像信号を同時に表示することを特徴とする請求項 1 に記載の記録再生装置。

【請求項 4】 上記制御手段は、上記第 1 の映像信号、上記第 2 の映像信号を圧縮し

て上記記憶手段に記憶させ、この記憶された各映像信号を伸長して表示することを特徴とする請求項 1 に記載の記録再生装置。

【請求項 5】 上記制御手段は、上記第 1 の映像信号、上記第 2 の映像信号を圧縮して上記記憶手段に記憶させ、表示する場合は上記記憶された各映像信号と上記入力手段からの映像信号とを合成し、その合成映像信号を上記表示手段に表示することを特徴とする請求項 1 に記載の記録再生装置。

【請求項 6】 上記表示手段による表示が行われている状態で上記第 1 の指示手段により記録開始の指示があったとき、上記記憶手段はその記録が開始されたときの映像信号を記憶することを特徴とする請求項 1 に記載の記録再生装置。

【請求項 7】 上記入力手段は、被写体を撮影して上記映像信号を出力する撮影手段であることを特徴とする請求項 1 に記載の記録再生装置。

【請求項 8】 映像信号を入力する入力処理と、

記録開始の指示に応じて上記入力される映像信号を記録媒体に記録する記録処理と、

上記記録開始の指示に応じて上記記録媒体への記録が開始されたときの第 1 の映像信号を記憶手段に記憶する第 1 の記憶処理と、

記録終了の指示に応じて上記記録媒体への記録が終了したときの第 2 の映像信号を上記記憶手段に記憶する第 2 の記憶処理と、

上記記録終了後記録された映像を確認するための指示に応じて上記記憶手段に記憶された上記第 1 の映像信号、上記第 2 の映像信号を表示する表示処理とをコンピュータに実行させるためのプログラムを記憶したことを特徴とするコンピュータ読み取り可能な記憶媒体。

【請求項 9】 上記記憶媒体と上記記録媒体とが同一の媒体であることを特徴とする請求項 8 に記載のコンピュータ読み取り可能な記憶媒体。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 1 1

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 1 1】

【課題を解決するための手段】

上記の目的を達成するために、本発明による記録再生装置においては、映像信号を入力する入力手段と、ユーザが記録開始、終了を指示する第 1 の指示手段と、上記入力される映像信号を上記第 1 の指示手段の指示に応じて記録媒体に記録する記録手段と、上記第 1 の指示手段の記録開始の指示に応じて上記記録媒体への記録が開始されたときの第 1 の映像信号と、上記第 1 の指示手段の記録終了の指示に応じて上記記録媒体への記録が終了したときの第 2 の映像信号とを記憶する記憶手段と、上記記録終了後ユーザが記録された映像の確認を指示する第 2 の指示手段と、上記第 2 の指示手段の指示に応じて上記記憶手段に記憶された上記第 1 の映像信号、上記第 2 の映像信号を表示手段に表示する制御手段とを設けている。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 1 2

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 1 2】

また、本発明によるコンピュータ読み取り可能な記憶媒体においては、映像信号を入力する入力処理と、記録開始の指示に応じて上記入力される映像信号を記録媒体に記録する記録処理と、上記記録開始の指示に応じて上記記録媒体への記録が開始されたときの第 1 の映像信号を記憶手段に記憶する第 1 の記憶処理と、記録終了の指示に応じて上記記録媒体への記録が終了したときの第 2 の映像信号を上記記憶手段に記憶する第 2 の記憶処理と

、上記記録終了後記録された映像を確認するための指示に応じて上記記憶手段に記憶された上記第1の映像信号、上記第2の映像信号を表示する表示処理とをコンピュータに実行させるためのプログラムを記憶している。

【手続補正4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0013

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0014

【補正方法】削除

【補正の内容】